



社団法人 日本理学療法士協会

富山県士会ニュース

平成16年度 4 (通算 96号)

総会員数 251名 (休会22名)

全85施設

2005.3.7 発行人 日本理学療法士協会 富山県士会
 〒936 0023 滑川市柳原149 9 富山医療福祉専門学校 理学療法学科内 ☎(076) 476 1716
 代表: 荻島久裕 編集: 赤尾健志 印刷: 志貴野苑
 士会URL: <http://toyamapt.umin.ne.jp/> 事務局アドレス: toyamapt-office@umin.ac.jp

CONTENTS

学術局学術部研修会

テーマ「運動制御と運動療法 ～発達的アプローチ～」

講師 星文彦先生 (東北文化学園大学理学療法士)

主催 富山県理学療法士会 学術局学術部

月日 平成17年3月13日(日) 9:00~15:00
(受付開始 8:30~)

会場 富山医療福祉専門学校 第2講堂
滑川市柳原149-9 TEL 076-476-0001
※JR・富山地方鉄道滑川駅より徒歩約12分
滑川I.Cより車で約7分

プログラム 9:00~12:00 講義
12:00~13:00 昼休み
13:00~15:00 講義・実技

会費 会員・2,000円 会員外・2,000円 学生・無料

ボウリング大会・新年会に参加して	2	平成17年度特別会計収支予算(案)	10
あすなる研修会	3	士会員の独り言	11
渉外部・社会保障制度情報委員会・ 保健福祉部合同研修会	3	スポット職場紹介	11
川尾先生追悼集	4	生涯学習委員会からのお知らせ	12
理事会報告	5~6	富山県理学療法士会賛助会員名簿	13
富山県理学療法士会 平成17年度事業計画(案)	6~8	会員異動状況	13
平成17年度一般会計収支予算(案)	8~9	事務局インフォメーション	14
		広報部のお知らせ・編集後記	14
		求人広告	15~20

ボウリング大会・新年会に参加して

済生会富山病院 東保 薫

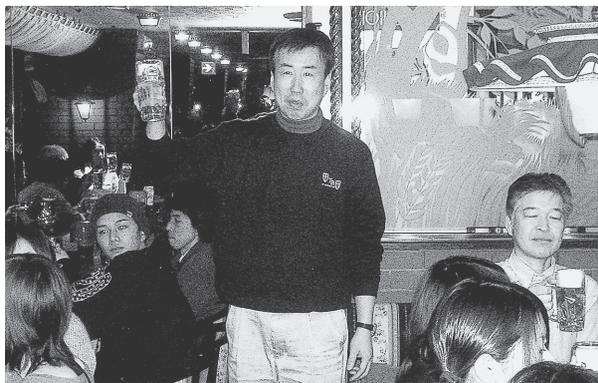
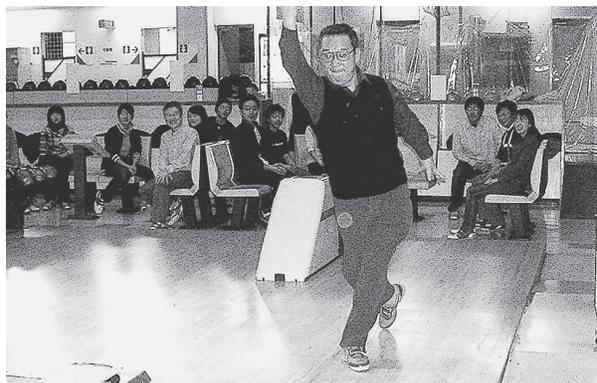
去る1月15日に、富山ゴールデンボウルでボウリング大会が、マンテンホテル11階のボンクックで新年会が開催され、私は両方に参加しました。

ボウリング大会は、荻島先生のゴールデンボウルでの華麗な始球式で幕を開けました。昨年優勝した「荻島先生・城戸先生ペア」を倒そうと、白熱した投球が繰り広げられている中、ボウリングが苦手な私は、最初から溝掃除ばかり。見かねた先輩からアドバイスをしてくださったおかげで、2つのストライクと2つのスペアを経験することができましたが時すでに遅しで、私は見事(?)「ガーター賞」を頂いてしまいました。そんな私を尻目に着々とストライクを重ね、優勝したのは、山田温泉病院の「松田先生・山岸先生」の女性コンビでした。ハンディがあるとはい

え、男性に負けず劣らずの活躍ぶりでの優勝、本当におめでとうございます。

表彰式の後開催された新年会では、さらに人数も増え、おいしい料理・お酒と、楽しい会話で、素敵なひと時を過ごすことができました。4月に県士会に入会してから、他の病院・施設の先生方と話をする機会がめったになく、他県の学校を卒業した私は寂しい思いをしていました。しかし、今回の新年会に参加したことで、先生方の顔と名前を覚え、お酒を交えながら、ざっくばらんなお話しをすることができ、大変有意義な時間となり、本当に良かったです。

このような楽しい催しを企画・運営していただいた厚生部の皆様に感謝致します。ありがとうございました。



研修報告から

あすなる研修について

温泉リハビリテーションいま泉病院 重光 健一

平成 16 年 11 月 28 日、富山県士会教育部主催によるあすなる研修会が富山県立中央病院 5 階ホールにて開催されました。内容は、午前中は魚津健康センターの森山先生を講師に「医療法・PT・OT法(含介護保険法)」続いて物理療法研究会の石黒先生を講師に「理学療法研究方法論」の講演が行なわれました。先生方の講義は分かりやすく、これから行なわれる研究や介護保険を要する場合での考え方の参考になると思われます。午後からはポスター発表形式での「あすなるカンファレンス」が行なわれました。「あすなるカンファレンス」では、8 題の報告があり、参加者による活発な質疑応答や意見交換がなされ、日頃疑問となっている事柄の解決のヒントが得られたのではないかと思います。

ポスター発表は北海道で行なわれた第 25 回全国理学療法学会より、より多くの研究発表の場を作る事を目的に導入されたそうです。あすなる研修では平成 15 年から導入され、当時の県士会ニュースによると、参加者が増加し、今後も増加が予想された。その為、その対応策として、より多くの方が発表できるポスター形式に変更されたそうです。今回の発表では、演者からの距離が近くなり、より活発な質疑応答などがされやすい場となりました。今後、理学療法を進めていく中で障害受容やリスク管理などの問題が生じた症例報告をした演者及び参加者にとって、今後の業務に活かされると思われます。

今回の研修会では、教育部として参加した私にとっても勉強となり、今後の更なる研鑽の場となりました。

今後も皆様の積極的な活動により、より良い研修会を開催でき、それが患者様につながり、質の高い理学療法を提供出来るようになれば良いと思います。

『現状をみんなで喋らんまいけっ！』

渉外部・社会保障制度情報委員会・
保健福祉部合同研修会

節分が過ぎ、ことさら“春”が待ち遠しくなってきた頃 2月6日 県立中央病院にて、渉外部・社会保障制度情報委員会・保健福祉部合同の研修会を開催しました。参加者は24名とやや少数でしたが、積極的参加型の研修会だったと思います。

当日は、“コアコンディショニングパーソナルトレーナー”の竹田氏(済生会高岡病院)によりフィットネスや姿勢調節として流行の“フォームローラーエクササイズ”の紹介から始めました。実際に体験した方からは、エクササイズ前後の違いに驚きの声が上がっていました。

その後「医療保険や介護保険に関する疑問・難問・奇問・不安・悩み・苦しみ...えとせとら」と題して、グループ討議をしました。具体的には「職場で問題になっていること」「何が知りたいことなのか？」を中心としましたが、予想通り時間がなく議論途中で終了したと反省しています。いつも時間が足りなくなるのですが...それはあまりにも社会の変化が早く大きいため、情報の整理と対応に大きな労力を必要としていることが原因だと思っています……。詳細は「Annta 知っとっけ」をご覧ください。

謹んでご冥福をお祈り申し上げます

去る平成16年12月1日、永年にわたり富山県理学療法士会の発展に寄与されてこられました初代士会長川尾明平先生が御逝去されました。ここに先生の足跡を御紹介させていただくと共に、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

川尾明平先生御略歴



勤務施設：にしの老人保健施設

入会年度：昭和47年度

士会活動歴：昭和47年10月～昭和52年3月まで士会長(初代会長)

昭和57年士会より感謝状贈呈

昭和58年県政功労賞受賞

昭和58年～現在まで士会相談役

昭和60年黄綬褒章受賞

理学療法士の先駆者として、リハビリテーションに関する医療・保健活動に貢献されました。

生涯理学療法士逝く (川尾明平氏追悼文)

高岡市民病院 福江 明

昨年の12月1日(水)川尾明平先生が逝去されました。先生は80歳を過ぎてなお、「生涯理学療法士」を自負し、病院に勤務されていましたが、一昨年の11月、不慮の事故で四肢麻痺となり、入院生活を続けられていました。ベッド上で寝返りもできず、気管切開により言葉を奪われ、意思表示すらままならなかった日々は無念だった事とお察しします。

それでも、お見舞いに行けば会えることが私にはまだ心の支えだったのですが、もうそれもかなわず、本当に淋しい限りです。

私が初めて先生に会ったのは、理学療法士という職業を知り進学を決めた36年前でした。先生は既に50歳に近い年齢で、厚生連高岡病院に勤務されておりました。

当時、高岡市以西では唯一の理学療法士であり、視覚障害があるにもかかわらず、240時間の講習を受け、点字で国家試験に臨み、見事に合格された先生は、まさにオンリーワンとして輝いておられました。

また、士会活動では昭和47年(1972)に士会創立を提唱され、初代士会長として草創期の活動を支えておられました。

そして、厚生連高岡病院を退職後は、懇請を受け再び臨床の立場に立ち、ついに倒れるまで働き続けられました。「尽くして、尽くして、尽くして、、、求めず」。これは後年先生が口にされていた言葉ですが、まさにそのとおりのご生涯だったと思います。

現在、士会の会員数は250名を越え、職域の拡大につれ、業務も多様化しつつあります。時代の流れの中で、もう先生のような働き方はできないかもしれません。しかし理学療法士に人生を賭け、誇りと情熱を持って患者さんに尽くし抜かれた姿を心に留め、これからも働いてゆきます。どうぞ、見守っていて下さい。合掌

平成17年1月23日



平成16年度 第6回理事会

日 時：平成16年11月25日（木）

場 所：富山医療福祉専門学校

出席者：荻島 田村 塚本 島倉 堀尾
森山 滝田 川合 城戸 寺田
宮原（書記）

< 報告事項 >

事務局報告事項：PT協会関連、各都道府県士会関連、関連団体関連郵送物等報告。

講師派遣事業報告（社会事業部）：平成16年度寝たきり老人ゼロキャラバンの講師派遣事業における収支決算報告。

いきいきとやま健康と長寿の祭典報告（社会事業部）：平成16年10月22・23日、富山県民会館で開催。部員6名が参加した。

第3回介護老人福祉施設におけるリハビリ研修会報告（社会事業部）：平成16年11月10日（水）サンシップとやまにて開催。参加者は36名であった。

第20回東海北陸理学療法学会報告：参加者は2日間で704名、収支の概要、アンケート調査結果が報告された。

その他：東海北陸理学療法学会時の新潟中越地震義援金募金は43,472円で、ブロック協議会の名義で新潟県士会事務局へお渡しした。

< 検討事項 >

1. 第13回ボーリング大会・新年会計画（厚生部）：平成17年1月15日（土）、ボーリング大会と新年会を計画しており、多くの参加を期待。
2. 組織検討委員会答申案報告（組織検討委員会）：新組織の計画は5局体制で、特に職能局、社会局の機能的活動を重視した改正案である。広報部の位置付け、生涯教育と研修会の運営、公益事業の内容について事業の振り分け等について検討が行われた。次回理事会で分掌規定と併せて承認し、拡大理事会で説明。事業計画へと進める。

平成16年度 第7回理事会

日 時：平成16年12月8日（水）

場 所：富山医療福祉専門学校

出席者：荻島 田村 塚本 堀尾 島倉 森山
滝田 川合 寺田 徳田 大野（書記）

< 報告事項 >

事務局報告事項：PT協会関連、各都道府県士会関連、関連団体関連郵送物等報告。

あすなる研修 報告（教育部）：平成16年11月28日（日）、県立中央病院にて開催、参加者は53名であった。

その他 訃報：川尾明平氏12月1日死去された。士会ニュースに掲載予定。

< 検討事項 >

1. 組織改編について：組織検討委員会の答申案最終報告を受けて、事業の担当部署や局人事概要について検討された。人材バンク関連事業は福利厚生部、研修管理部は教育局にあり新人教育プログラムの管理も行う等分掌規定と併せて調整された。

平成16年度 第8回理事会(第2回拡大役員会)

日 時：平成16年12月15日（水）

場 所：富山医療福祉専門学校

出席者：荻島 田村 塚本 島倉 堀尾 滝田
川合 城戸 大野（書記） 徳田 廣田
竹中 中屋 赤尾 飯島 金森 高畑
政井 酒井 柴田 杉谷 寺田 菱田
福江

< 検討事項 >

士会組織改編について：組織検討委員会からの「組織改編に関する答申」について説明が行われ、局・部編制と分掌規定を確認した。平成17年度に向けての事業計画案の作成と今後のスケジュールについて、新・旧部員での事業計画案作成等、各局ごとに事情が異なるので局単位でスムーズに移行するよう検討していただくこととした。

平成16年度 第9回理事会(第3回拡大役員会)

日 時：平成17年1月29日（土）

場 所：富山医療福祉専門学校

出席者：荻島 田村 塚本 島倉 堀尾 森山
川合 城戸 寺田 菱田 金森 中屋
蟹谷 杉谷 宮原 高畑 政井 広川
飯島 竹中 柴田 森田 徳田

< 検討事項 >

1. 平成17年度事業計画・予算案：各部より平成17年度事業計画案、予算案が提出され、現行の事業計画案から新組織での事業計画案への移行も含め検討された。事業計画案、予算案の若干の修正点について次回理事会で確認し、総会資料とする。
2. 会費の値上げについて：平成17年度における

収支予算案では予備費が極端に低く、東海北陸理学療法学会、士会記念事業への積立や各種会議費の増加について考慮すると、士会費2,000円程度の値上げが妥当と考えられる。総会に図り会費値上げを行うこととなった。

平成16年度 第10回理事会

日 時：平成17年2月4日（金）

場 所：富山医療福祉専門学校

出席者：荻島 田村 堀尾 島倉 森山 滝田
川合 城戸

< 報告事項 >

事務局報告事項：P T協会関連、各都道府県士会関連、関連団体関連郵送物等報告。

第3回ケーススタディー報告（骨関節疾患研究会）：平成16年11月15日（月）、富山協立病院にて開催。参加者は15名であった。グループワーク形式での症例検討。

第4回循環器講習会報告（循環器研究会）：平成16年11月21日（金）、厚生連滑川病院にて開催。参加者は21名であった。

第2回小研修会報告（中枢神経系研究会）：平成17年1月20日（木）、いま泉病院にて開催。参加者は21名であった。

< 検討事項 >

1. 第4回ケーススタディー計画（骨関節疾患研究会）：平成17年2月7日（月）、富山協立病院にて開催予定。

2. 第3回研修会計画（中枢神経系研究会）：平成17年3月13日（日）、富山医療福祉専門学校にて開催予定。テーマは「運動制御と運動療法」、講師は星文彦先生。研修会終了後に総会を予定している。

3. 平成17年度事業計画案、予算案について：新組織での事業計画案、予算案について確認した。

富山県理学療法士会 平成17年度事業計画(案)-新組織-

< 学術局 >

[専門領域研究部]

1. 研究会活動

循環器研究会

a. 研究活動

b. 循環器講習会の開催（11月）

呼吸ケア研究会

a. 研究活動

b. 小研修会の開催

c. 呼吸理学療法セミナーの開催

生活支援系研究会

a. 研究活動

b. 研修会の開催（10月）

中枢神経系研究会

a. 研究活動

b. 研修会の開催（8～9月）

c. ケース・スタディーの開催（9月）

d. 小研修会の開催（11月）

骨関節疾患研究会

a. 研究活動

b. ケース・スタディーの開催

c. 研修会の開催（6～7月）

物理療法研究会

a. 研究活動

b. 研修会の開催

スポーツ系研究会

a. 研究活動

b. 研修会の開催

教育管理系研究会活動

a. 運営会議

b. 研修会事業 日時：10月

場所：サンシップ

基礎系研究会活動

a. 勉強会

2. 研究会連絡会議（3回開催）

3. 学会発表等の支援活動

[学術資料部]

1. 学術誌「みんなの理学療法」の企画及び編集・発行

2. 広告掲載および募集についての検討

3. 学術資料掲載についての検討

4. 学術資料の整理及び貸し出し、閲覧

< 教育局 >

[卒前教育部]

・研修会事業「臨床実習教育研修会」

日時：7月30日(土)・31日(日)

場所：サンシップ

[卒後教育部]

・研修事業

「あすなる研修」 日時：11月27日(日)

場所：未定

「理学療法教育研修会」 日時：9月10日(土)

場所：未定

[研修管理部]

1. 県内外の研修活動に関する管理
2. 新人教育プログラム計画・報告や生涯学習の啓発等
3. 新人教育プログラム履修状況の管理・通達
4. 新人教育プログラム研修会(テーマ：生涯教育)

< 職能局 >

[業務推進部]

1. 理学療法業務の拡充と推進
2. 理学療法施設間連絡についての啓発活動
3. 社会保障制度に関する研修会 年1～2回
4. 機関紙の発行 年2～3回

[医療保険部]

1. 医療機関からの相談対応
2. 医療保険制度に関する情報の収集・整理・発信

[介護保険部]

1. 介護保険制度に関わるサービス事業者からの相談対応
2. 介護保険制度に関する情報の収集・整理・発信
3. 支援費制度の利用状況についてのアンケート調査

< 公益事業局 >

[福祉事業部]

1. ノーマライゼーション推進事業の企画と実施
「第24回富山市民ふれあい広場」参加
その他、同様のイベントに参加
2. 「第4回介護老人福祉施設リハビリテーション研修会」の企画と実施
日時：11月16日(水)
場所：サンシップ
3. 講師派遣事業
「寝たきり老人ゼロキャラバン」
その他市町村関連団体の要請に応じ対応

[保健事業部]

1. 全体研修会 テーマ：未定
2. 保健事業に関する情報収集・発信
3. 身障スポーツ、各種スポーツ活動支援
各種競技団体からの理学療法士要請に関する対応・窓口
各種スポーツまたは、その準備などを含めた活動の支援、援助

[広報部]

1. 理学療法週間事業の企画と実施
日時：7月10日(日)
場所：ファボーレ
2. 「いきいきとやま・第18回健康と長寿の祭典」への参加に伴う企画と実施
日時：10月5日(水)・6日(木)
場所：県民会館
3. 広報媒体の作成と配布についての検討

[調査部]

1. 士会活動に関する調査ならびに資料の管理
2. 他士会の動向、定点調査等

< 事務局 >

[事務部]

1. 事務局の管理
2. 理事会・役員会の運営
3. 各種定型書類の整理
4. 郵便物郵送・管理
5. 士会員の異動、登録などの管理
6. 士会員の慶弔に関する業務
7. 渉外活動、連絡調整

[財務部]

1. 財務管理
2. 会費自動引き落とし制度の推進
3. その他

[情報管理部]

1. 士会ニュース 年4回(6.15 9.15 12.15 3.15日)発行及び年報6.15日発行
2. 士会ニュース及び年報の発送
3. 平成17年度士会活動の写真・記録の依頼、又は取材し士会ニュースに掲載
4. 士会ホームページの企画・管理・運営の検討、実施。

[福利厚生部]

1. 新人・転入会員歓迎会 5月中旬

2. 北陸三県理学療法士交流会 6月中旬
 3. 県士会員交流会(ボウリング大会)

10月下旬

4. 新年会 1月下旬
 5. 人材バンク管理運営

[組織部]

1. 定款・細則の見直し
 2. 組織・運営に関する事項の検討
 3. 法人化に関する情報収集と対応検討

< 委員会 >

[選挙管理委員会]

[表彰審査委員会]

- ・表彰に関する事項の検討

< 特別事業 >

[富山県理学療法学会]

- ・第11回富山県理学療法学会の開催

日時：平成18年3月 場所：未定

平成17年度一般会計収支予算(案)

平成17年4月1日から平成18年3月31日まで

収入の部

単位：円

科目	細目	予算	前年度予算	増減	備考
会費収入		3,115,000	——		
	正会員会費	2,745,000	——		会費：9,000×277名 新入会員：9,000×28名
	入会金	70,000	——		2,500×28名
	賛助会員会費	300,000	——		賛助会費：30,000×10施設
事業収入		3,809,000	——		
	専門領域研究部事業	1,365,000	——		研修・講習会参加費：715,000 教育管理系研修会参加費：600,000 共催金：50,000
学術局	学術資料部事業	45,000	——		出版広告掲載費：45,000
	卒前教育部事業	640,000	——		臨床実習教育研修会参加費：240,000 協賛・助成金：250,000
卒前教育部事業	理学療法教育研修会参加費：30,000				
研修管理部事業	あすなる研修参加費：80,000				
職能局	業務推進部事業	30,000	——		新人教育プログラム研修会参加費：40,000
	医療保険部事業 介護保険部事業				研修会参加費：30,000
公益事業局	広報部事業	520,000	——		理学療法週間事業協会助成金：120,000
	福祉事業部事業				講師派遣事業講師料：150,000
	保健事業部事業				リハビリテーション研修会事業参加費：200,000 研修会参加費：50,000
特別事業	富山県理学療法学会	200,000	——		参加費：2,000×100
事務局	厚生部事業	445,000	——		北陸三県交流会：0 新人歓迎会：45,000 新年会費：200,000 レクリエーション費：200,000
	情報管理部事業	564,000	——		士会ニュース広告料：564,000
助成金		130,000	——		IT：50,000 新人教育：80,000
雑収入	利息	1,000	——		
	その他	0	——		
当期収入合計(A)		7,055,000	——		
前期繰越収支差額		900,000	——		
収入合計(B)		7,955,000	——		

(注) : 収入減

平成17年度一般会計収支予算(案)

平成17年4月1日から平成18年3月31日まで

支出の部

単位：円

科目	細目	予算	前年度予算	増減	備考
学術局事業費		1,981,500	—		
	専門領域研究部	1,541,500	—		部会会議費：24,000 研究会事業費：852,500 管理運営研修会：650,000 基礎系研究会会議費：15,000
	学術資料部	440,000	—		印刷費：360,000 通信費：50,000 会議費：12,000 謝礼：18,000
教育局事業費		673,800	—		
	卒前教育部 卒後教育部 研修監理部	673,800	—		臨床実習教育研修会：490,000 会議費：30,000 あすなろ研修：80,000 理学療法教育研修会：30,000 会議費：10,800 通信費：8,000 新人教育プログラム研修事業：25,000
職能局事業費		158,000	—		
	業務推進部 医療保険部 介護保険部	158,000	—		活動費：10,000 会議費：18,000 通信費：30,000 消耗品：20,000 講師謝礼：30,000 会場費：30,000 印刷費：20,000
公益事業局事業費		700,300	—		
	福祉事業部		—		会議費：30,000 ノーマライゼーション推進事業：10,000 講師派遣事業：150,000 リハビリテーション研修会事業：150,000
	保健事業部	700,300	—		会議費：1,800 消耗品：1,000 (身障スポーツ) 会議費：45,000 活動費：7,500 通信費：25,000 印刷費：20,000 講師謝礼金：30,000 会場費：15,000 消耗品：10,000
	広報部		—		理学療法週間事業費：120,000 会議費：10,000 健康と長寿の祭典事業費：15,000
	調査部		—		会議費：5,000 通信費：35,000 定点調査費：20,000
特別事業費	富山県理学療法学会大会	400,000	—		講師謝礼金：60,000 会場費：80,000 交通・宿泊費：50,000 準備運営費：50,000 印刷費：80,000 通信費：80,000
事務局管理費	事務部 財務部	713,208	—		会議費：50,000 通信費：180,000 活動費振込料：5,000 役員活動費：150,000 消耗品費：300,000 「厚生」購読料：8,208 公衆衛生学会協賛金：20,000
	情報管理部	948,680	—		印刷費：700,000 通信費：185,000 消耗品費：22,000 会議費：40,000 雑費：1,680
	組織部	10,500	—		会議費：4,500 会議費：6,000 (300円×5名×4回)
	福利厚生部	707,000	—		新人歓迎会費：65,000 会議費：30,000 北陸三県交流会費：72,000 新年会費：250,000 レクリエーション費：270,000 人材バンク管理費：20,000
	表彰審査委員会	3,900	—		通信費：1,200 会議費：2,700
	選挙管理委員会	0	—		
繰入金支出	特別会計繰入金	900,000	—		学術大会繰入金：300,000 記念事業繰入金：600,000
予備費		758,112	—		
当期支出合計(C)		7,955,000	—		
当期収支差額(A-C)		-900,000	—		
次期繰越収支差額(B-C)		0	—		

(注) : 支出減

平成17年度特別会計①収支予算(案)

平成17年4月1日から平成18年3月31日まで

収入の部

単位：円

科目	細目	予算	前年度予算	増減	備考
繰入金		300,000	1,000,000	700,000	
	東海北陸理学療法学会大会	0	400,000	400,000	14年度分
	東海北陸理学療法学会大会	0	300,000	300,000	15年度分
	東海北陸理学療法学会大会	0	300,000	300,000	16年度分
	東海北陸理学療法学会大会	300,000	—	300,000	17年度分
事業収入		0	5,060,000	5,060,000	
	東海北陸理学療法学会大会	0	5,060,000	5,060,000	
雑収入	利息	5	100	95	
当期収入合計(A)		300,000	5,360,100	5,060,100	
前期繰越収支差額		0	700,000	700,000	
収入合計(B)		300,005	6,060,100	5,760,095	

：収入減

支出の部

単位：円

科目	細目	予算	前年度予算	増減	備考
事業費		0	5,790,000	5,790,000	
	東海北陸理学療法学会大会	0	5,790,000	5,790,000	
予備費			270,100	270,100	
当期支出合計(C)		0	6,060,100	6,060,100	
当期収支差額(A-C)		300,000	-700,000	1,000,000	
次期繰越収支差額(B-C)		300,005	0	300,005	

：支出減

収入の部

単位：円

科目	細目	予算	前年度予算	増減	備考
繰入金		600,000	600,000		
	記念事業	0	600,000	600,000	平成16年度
	記念事業	600,000	—	600,000	平成17年度
雑収入	利息	5	100	95	
当期収入合計(A)		600,005	600,100	95	
前期繰越収支差額		600,000	—	600,000	
収入合計(B)		1,200,005	—	1,200,005	

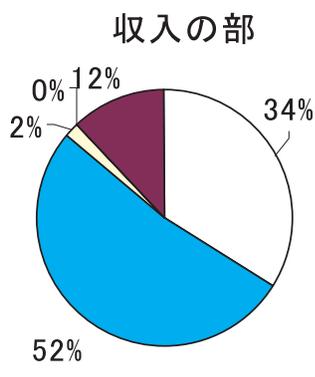
：収入減

支出の部

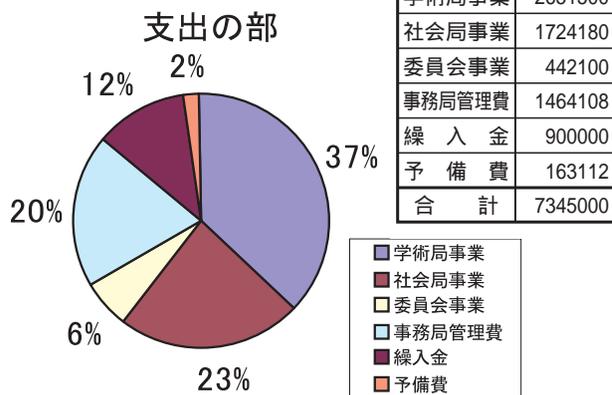
単位：円

科目	細目	予算	前年度予算	増減	備考
事業費		0	0	0	
	記念事業	0	0	0	
予備費		0	0	0	
当期支出合計(C)		0	0	0	
当期収支差額(A-C)		600,005	600,100	600,005	
次期繰越収支差額(B-C)		1,200,005	600,100	599,905	

：支出減



会費収入	2505000
事業収入	3809000
助成金	130000
雑収入	1000
前期繰越収入	900000
合計	7345000



学術局事業	2651500
社会局事業	1724180
委員会事業	442100
事務局管理費	1464108
繰入金	900000
予備費	163112
合計	7345000



士会員の独り言

老人保健施設なごみ苑 丸田 和男

今回、依頼を受け何を書こうかと考えたが、これといって最近変わった事もなく書くことが浮かばず困った。色々何かないかと現在までを振り返ってみたら、ふと思った。学校を卒業し、就職し、社会人になって3年が経ち、早4年目である。クラスの仲間と学校であっていた頃が昨日の事のようにも感じる。時の経つのは早いものだ。そういえば、最近クラスの仲間とも会う機会がない。これといって、会わなくても日常が成立しているのが、気が付くと寂しい感じがした。電話でもしてみようかな？その時は、よろしく。

話しが変わるが、最近、久し振りに会った友人に、決まって同じセリフを言われる。自分では変わらないと思うのだが、「太った？」と疑問系や「太ったね！」と断言までされる事態が、ここ最近で多く聞かれるようになった(怒)。言われると気になるもので、体重計に乗ってみた。さすがに危機感を感じて何かスポーツをしようと、知人に紹介してもらい、中学校から高校まで行っていたバスケットチームにお邪魔する事にした。高校を卒業して以来、約7年ぶりのバスケット。当時は、1試合、合わせて40分は動けたはずが、今では3分で限界だ。この年で、また一から始めるのは大変。あと、大変なのが通う距離。練習が黒部であるので、滑川から通うのが大変だ。仕事の後は辛いが、今の所、気合を入れて続けている。問題の体重だが、始めてから体重が少しずつだが減ってきた(喜)が…。正月を過ぎると戻っていた(哀)。正月は練習は休みで、友達と鍋など色々、何も気にせず食べた。体重が戻るのも当然だ！

仕事の事も少し触れると、去年の11月に老健の全国大会(香川県)に行かせてもらった。会場がいくつもあり移動が大変だったが、大きな大会は初めてだったので参加するだけで、好奇心？意欲？何かわからないが気持ちが高ぶるものがあった。仕事場でも、どんどんチャレンジしていかなければと感じる。今後は、「していかなければ」が「やってみたい」に変わるよう精進していきたい。

スポット職場紹介

マーシ園療護ホーム 炭谷 勇

当園は平成16年4月に南砺市(旧井波町)に開所した県内4カ所目の身体障害者療護施設です。また併せてショートステイ・デイサービスも提供しています。

施設の入所定員は30名で、18歳から概ね65歳までの身体障害者の方を対象としており、脳性麻痺、脳血管障害、筋ジストロフィー症など様々な疾患、障害をもった方が入所されています。

リハビリテーションに関しては、スタッフPT1名で行なわれていますが、介護スタッフと協力して毎日の生活の中で利用者にしてできることを最大限していただくよう努力しているところです。また、病院とは違い支援費制度の中でサービスとしてリハビリテーションを行っています。

理学療法士の業務内容としては、機能維持・向上のための運動の他、居室や施設内設備等の環境整備・設定、介助技術講習等を行っています。また、疾患や褥瘡、各種障害に対するケア等について介護スタッフとともに勉強会も行っています。利用者の多くが身体障害に加え知的・精神障害を併せ持っており意思疎通の困難な方に対する対応に課題を感じています。

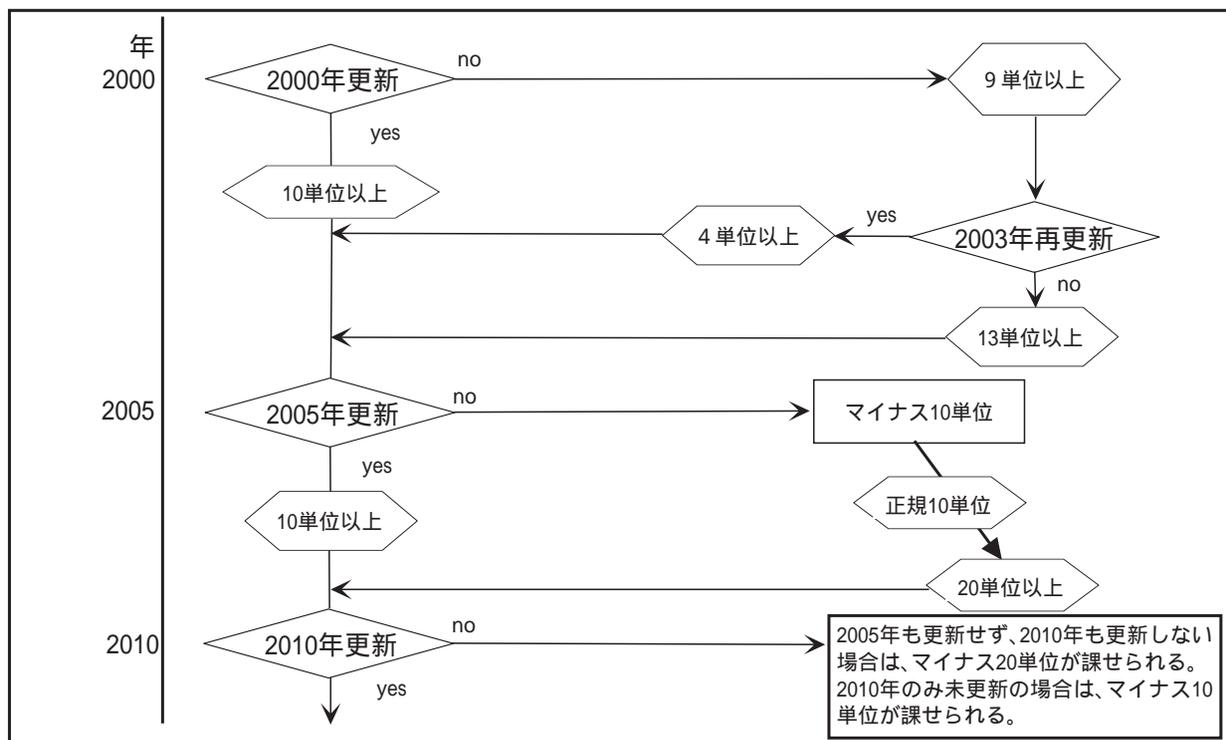
開所してはや一年が経とうとしていますが現在は理学療法士として、そして施設全体として全てのことに試行錯誤している状況で、利用者に十分なサービスを提供できていない現状であり、今後各職種との情報交換を密にし、利用者とのコミュニケーションを大事にし、より良いサービスを提供できるよう頑張っていきたいと思っております。

生涯学習委員会からのお知らせ

2005年は生涯学習基礎プログラム(以下：基礎プロ)の更新年です!!

今回は新人教育プログラム(新プロ)未修了以外の方は対象です
単位は2000～2004年度(平成12年度～16年度)の単位が有効です

フローチャートの見方：チャート内に単位数がない方は、下の規定単位数を参照下さい。



規定単位数

2000年更新(免除者含)者および2000年以後生涯学習基礎プログラム開始者

新プロ1999年(H11年)度以前修了(基礎プロ2000年度以前開始(新プロ特例措置者含む))	: 10単位以上
新プロ2000年(H12年)度修了(基礎プロ2001年(H13年)度開始)	: 8単位以上
新プロ2001年(H13年)度修了(基礎プロ2002年(H14年)度開始)	: 6単位以上
新プロ2002年(H14年)度修了(基礎プロ2003年(H15年)度開始)	: 4単位以上
新プロ2003年(H15年)度修了(基礎プロ2004年(H16年)度開始)	: 2単位以上

2005年度休会中会員の取り扱い

2005年度休会中会員については、2000年～2009年の20単位のうち、休会年×2単位を減じた単位数を2010年に報告する。

註：新プロ特例措置者とは、昭和60年度以前の協会入会者をさす

○新人教育プログラム対象者で、協会主催または後援等の冠がある学会・研修会・講習会に参加された方は、その学会等を新人教育プログラム対応研修会として読み替える事ができます。参加を証明する『受講証明書』あるいは『領収書』等を士会学会や研修会時に、生涯学習手帳と一緒に提出して下さい。単位認定を致します。但し、どの単位に対応するかは委員会の方で決めさせていただきます。

会員歴10年以上を有している方で、新人教育プログラム未了の方は、症例検討、とトピックス、を除き他の履修単位6単位(但し、生涯学習の単位必修)にて新人教育プログラム終了となります。対象の方は、生涯学習委員会までご連絡ください。

士会研修会の時には、必ず、生涯学習手帳を持参して下さい。

事務局インフォメーション

財務部より 協会・士会費の徴収について

平成17年度より協会で行っている自動振替制度に移行致します。

従いまして、新たに預金口座振替依頼書の提出が必要となります。

現在、士会の自動振替制度を利用されている方や、まだ申込をしていない方は、至急事務局まで預金口座振替依頼書を郵送頂きますようお願い致します。これを機に是非、協会の自動振替制度をご利用下さい。

市町村合併等により、自宅の住所が変更になったり、病院施設の住所が変更になる場合があります。もしありましたら事務局へ異動届を速やかに提出してください。また、過去に変更されて届けていない場合もあるかと思いますが、そういった場合も届出をお願いします。士会HPからダウンロード可能です。

また、ご結婚される場合、事務局より祝電を打たせていただきます。ご本人でもスタッフの方でも事前にご報告ください。

広報部の窓口から

広報部では、富山県士会員の方から、士会活動の案内等、理学療法に関係があると思われる様々な記事を募集し、士会ニュース伝言板に掲載していく予定です。

掲載希望の方は、富山赤十字病院 林朝美 まで連絡をお願いします。

【連絡先】

〒939-0859 富山市牛島本町2-1-58
富山赤十字病院 リハビリテーション科
林 朝美 まで

TEL (076) 4 3 3 - 2 2 2 2

FAX (076) 4 3 3 - 2 2 7 4

E-mail

rehabili@toyama-med.jrc.or.jp

渉外部の相談窓口

日常業務での疑問・悩み事等に対して、渉外部では電話による相談を受け付けています。お気軽に何でもお尋ねください。

電話番号(0765)24 3999 FAX(0765)24 3684

魚津市健康センター 森山まで

E-mail : akira-moriyama@city.uozu.toyama.jp

自宅での療養のために 福祉用具のレンタル・販売

介護用品 車椅子 特殊ベッド

移動リフト 人工肛門 福祉家具

住宅改造 在宅酸素



心にやすらぎを——在宅医療用品専門ショップ

株式会社 トミキライフケア

高岡支店 ●〒933-0847 高岡市千石町3-20 ☎(0766) 2 6-7 1 7 1

本店 ●〒920-0061 金沢市問屋町2-49 ☎(076) 2 3 7- 0 7 0 8

編集後記

平成16年、台風、地震、津波と色々な災害が起こり、たくさんの方が被害にあわれました。何か平成16年は、アテネオリンピック等もありましたが、何か暗い年だったように思われます。

さて、自分の事を振り返って見ると、久しぶりに編集後記を書くことになりました。いざ書こうと思うと、なかなか漢字がでてこない。病院の方は電子カルテ、家ではメールとほとんど文字を書いてないことに気付き、「これではいかん」と思い、国語辞書を片手に編集後記を書いています。このままだと漢字を忘れてしまうと思い、小学校1年生の娘と一緒に漢字の勉強しなければと思う今日このごろです。

新しく平成17年になりました。当県士会も色々改革があると思いますが、皆健康に注意し今年も頑張っていきましょう。